

# ほのぼの苑だより



医療法人 正和会 健康まつり 開催



デザートバイキング

七月四日に非日常的活動委員会の企画として、デザートバイキングが行われました。小熊シェフが作った色鮮やかなデザートがテーブルを彩り、次々と入苑者の皆さんの口に運ばれていき、満足そうな笑顔を見ることが出来ました。同様に通苑者の皆さんにも振る舞われましたが、デザートが置かれているテーブルには食べたい物を選ぶ方々が集まり、すぐに混雑し始めました。今回のデザートバイキングは皆さんのお腹も、心も満たす事が出来たと思えました。

(保坂 晃子 記)



七夕

七月七日 正面玄関とキヤノピーで誕生会と花火大会を行いました。正面玄関には、竹竿に短冊が飾られ、心温まる願い事が書かれてあり、感動しました。

外では花火を行い、入苑者の方々の笑顔が花火と重なり、とても綺麗でした。皆さん、童心の頃に戻ったかのように楽しんでおられました。なかなか笑顔を見せることが少ない方がとても良い笑顔を見せて下さったのには暖かい気持ちになりました。

(菊地 信孝 記)





# ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」  
は、苑内での感動する話を紹介  
するコーナーです。

## ちよつとイイ話

### 七月の業務日誌より

七月十二日（水）

最近、管理栄養士の方が入苑者の方々に味付けの善し悪しを聞いて歩いていて、入苑者の方々も食後に「これはおいしかった。」「あれは味が薄い。」等、口にされるが多くなつた様な気がします。これから、今以上においしい食事になつていくと良いなと思えました。



七月十三日（木）

入苑者より「この人が、私の一番上の娘だもの・・・。」と紹介されました。ほのぼの苑に入苑してから初めて面会にいらしたらしく、入苑者はとても嬉しそうにしていました。娘さんが帰られた後に再度話しをすると、涙ぐみながら、家族の話をしていました。とても心暖まる光景でした。

七月十八日（火）

入苑者の表情が、面会の方が来ると、とても柔らかくなるような気がします。入苑者の方の話しをゆつくりと時間をかけて聞いてあげられる家族の方の存在がとて

も大きいのだと感じました。それだけが理由では無いと思いますが、私たちも入苑者の方々の話に耳を傾けることが大切だと思えました。

七月二十七日（木）

本日、初通苑される方の送迎を担当しましたが、初対面で緊張されている方に対して、同乗されている通苑者の皆さんが声を掛けてくださり、すぐに打ち解けて、その日一日、他の通苑者の方々と笑顔で過ごすことが出来ました。初日からほのぼのとした時間を過ごすことが出来て良かったと思います。



## 幸福

私は三ヶ月程、無職の時期を経験した。長年勤務した職場を退職し、心身の休養を兼ねて、思い切つて羽を伸ばす事にした。時間に追われる事なく、夜更かしをしたり、慣れない料理に腕を振るったり・・・家中をピカピカに掃除をし、専業主婦もなかなか良いなあど酔いしれていた。しかし、十日位すると何かがおかしい！  
いつもの鼻歌が「ふううう」「あああ」という溜め息に変わってきたのである。

猫の額の我が家はダスキンを左右に数回動かすと廊下拭きは終了。鍋も磨き過ぎて、傷だらけになってきた。規則正しい三食の食事にハイザーの米は正直に減っていき、一方、私の体重は増加傾向。一日が長く感じ、一気に老けてしまった。これは大変と思い、ハローワークへ足を運んだ。パソコンは一日二時間待ち。そこで大好きな人間ウォッチングスタート。就寝したい気持ち満々の人とビーチサンダルにマンガ本を片手に求人票を見ている人。頭を抱えている人、画面に向かって文句を言っている人、幸い、私は自分の職種画面をポンとタッチして「あり、資格を持っていて良かった。」と胸を撫で下ろした。自分の好きな職に就き、様々な環境に恵まれ、働く事の楽しさを実感している。

それ以前に働く場所があるという事はありがたい事だと身に染みて感じる。今まで医療中心の職場だったが、今は福祉中心の施設で新しい事を学び、考え、行動している自分がある。

当たり前の事がこんなに幸せである事に感謝したい。



# ほのぼの苑家族会 議事録

先月の家族会のご要望で、過去に家族会のグループ討議の際に、出された質問と回答の掲載を家族会次第の裏に記載する事を約束致しましたが、ほのぼの苑だよりの誌面も利用し、ご家族の皆さんにお知らせします。この誌面をご覧になり、家族会に参加してみたいと考えて頂けたらと思っております。

## 第一回 平成十八年四月二十二日

参加人数 二十六名

- ◎家族負担の増加が気になる。
- ◎全国の老健が国に働きかけた経緯を説明後、秋田の現状、高齢者共同住宅等での対応を説明。
- ◎一定期間での退苑を要求される心配がある。
- ◎次回の家族会で介護保険や福祉施設の現状説明を行う。
- ◎ステーション2の談話室がなくなったことで、ベッドでの離床や他の入苑者との会話が減ってしまう。
- ◎建物の構造上、食堂が談話室と兼用していることを説明。
- ◎他の入苑者が自分の家族の服を着ている。
- ◎五月からクリーニング会社に衣服管理を外注するが、入苑者の持ち物に予め名前を記入しているが、入浴・クリーニング時に取り違いが起きている事を説明し、今後起こらない

ように対策を考える。

- ◎居室移動について事後報告ではなく、事前に連絡が欲しい。
- ◎居室移動が発生する経緯を説明し、今後は事前に連絡し、承諾を得るようにする。
- ◎シーツが汚れている。
- ◎定期的な交換だけではなく、声かけ時などにチェックし、交換を行う。
- ◎声かけを増やして欲しい。
- ◎職員全員で徹底する。
- ◎職員に用事があるときに探さなければならぬ。
- ◎ステーション内に必ず職員がいて、対応出来るようにする。

## 第二回 平成十八年五月二十一日

参加人数 十八名

- ◎認知症の初期症状について教えて欲しい。
- ◎認知症の初期症状と進行する要因を説明。
- ◎家族会への参加者を増やして欲しい。
- ◎来月は、相談員からご家族に確認の電話をし、参加者増加の良い方法も考えていく。
- ◎前回の家族会の開催を知らなかったご家族がいた。
- ◎苑内のお知らせを増やす、入苑者の方々の掲示板を利用する等、より積極的に家族会を案内する。
- ◎ホームページに家族会の告知を載せて下さい。
- ◎次回開催日時が決まり次第、掲載する。
- ◎ほのぼの苑問い合わせメールについて、入苑

者の状況の問い合わせも可能なか。

- ◎時間帯にもよりますが、メールは出来るだけ頂いた日に返答し、個人的な問い合わせにも対応します。
- ◎食堂のテレビの映りが悪い。
- ◎大型テレビを購入。
- ◎食事の時間帯について教えて欲しい。
- ◎食堂に入る時間から食事が終了するまでの流れを説明。
- ◎散髪が依頼通りに行われぬ、髪が伸びている。
- ◎ご家族からの散髪依頼に関しては、確実に手配し、散髪者リストをチェックして伸びてきている方に散髪を勧めていく。

## 第三回 平成十八年六月十八日

参加人数 二十三名

- ◎面会に来たときに入苑者との気持ちの疎通がとれない。
- ◎その日の入苑者の体調により、入苑者の方々の気持ちも変化するので、様態についても考慮してください。また、ご家族だけで悩まず、職員に相談していただき、職員と一緒に解決していきましょう。
- ◎防災体制について聞きたい。
- ◎定期的な防災訓練実施、近隣住民との協力関係を結び非常時に備える、各災害に対してのマニュアルを準備している、災害対策委員会を設け、必要な物品のチェックや災害時の役割・対応について改善している、災害時用連絡網を作成し、災害時に短時間で職員全員に連絡が届くように対応している。

◎正面玄関がロックされている時、職員がすぐ駆けつけてくれるようにして欲しい。

- ◎インターホンを設置して対応。
- ◎請求書を月末一週間程度、余裕を持って着くよう配送して欲しい。
- ◎現状の請求書配送までの手順を説明し、期日を守るように努力する。

## 第四回 平成十八年七月二十三日

参加人数 十三名

- ◎家族会に毎回参加出来るわけではないため、今までに出た質問、その回答についての情報が欲しい。
- ◎過去の質問、回答について家族会にいらっしやうにご家族の方に情報が伝わるように対応する。
- ◎談話室が少ない。
- ◎長時間をかけて改善していきたい。
- ◎洗濯物が早く届くように出来ないでしょうか。
- ◎クリーニング業者に問い合わせる。

### 発行



医療法人 正和会  
介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県湯上市昭和地久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央